



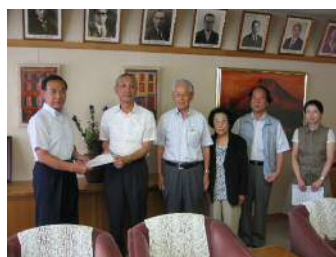
まちづくり研究会ニュース

発行：J R 芦屋駅南地区まちづくり研究

平成 25 年 9 月

まちづくりの早期事業化についての要望書提出

8 月 20 日（火）、山中健芦屋市長並びに徳田直彦市議会議長を訪ね、「JR 芦屋駅南地区まちづくり」の早期事業化について要望書並びに申入書を提出しました。私達のまちづくりに対する熱い思いを伝えることができました。



（山中市長に要望書を提出）



（徳田議長に申入書を提出）

第 2 回勉強会を開催しました！！

8 月からスタートした JR 芦屋駅南地区まちづくり勉強会の第 2 回目を、9 月 14 日（土）午前 10 時 30 分より、上宮川文化センター3 階大会議室において開催しました。今回は、前回に比べ多くの参加者の方に参加いただきました。（参加者 27 名（市 4 名・コンサルタント 4 名含む））

次頁以降でその概要を報告いたします。

プログラム

- ・代表からの挨拶
- ・参加者の自己紹介
- ・これまでの経緯等
- ・勉強会（ 前回のふりかえり、意見交換 ）



勉強会の概要

はじめに、JR芦屋駅南地区に関するこれまでの経緯の説明や第1回勉強会の様子についてふりかえりを行いました。

また、前回意見が多かった交通課題について、調査データをもとにJR芦屋駅南地区の状況を説明し、意見交換を行いました。

意見交換では、勉強会のあり方なども含め、様々なご意見をいただきました。下記及び次頁に、その内容をまとめました。

【意見等のまとめ】

- 駅周辺の整備としては、バスターミナルや歩道の整備といった交通や安全に関する対策について多く意見が出され、JR西日本を巻き込んだ協議・検討が必要といった意見もありました。
- これまでの経緯を含め、「この勉強会は、過去に取り組んできたことの同じことの繰り返しではないか」「市としてどれくらい本気なのか」などといった趣旨の意見をいただきましたが、市から、事業を延期した経緯などの説明があったのち、今回は、改めて市の上位計画である「第4次芦屋市総合計画」に本事業を位置づけるなど、事業化に向けて取り組んでいくという考えの説明がありました。
- 今後の勉強会については、「事業区域や手法を考えるためにイメージできるものを提示してほしい」「どんなまちを目指すのか話を始めないといけないのでは」という意見が出されました。

【参加者の主な意見】

○今回の取り組みに対して

- ・（今回の勉強会の取り組みは）20数年前と同じことをやっているのではないのか。
- ・（JR芦屋駅南地区のまちづくりは）自分たちの親の世代からある話である。
- ・市はどこまで本気でやる気持ちでいるのか。
- ・「所詮、また、・・・」という気持ちが自分たちの中にもある。
- ・地権者としては、「今回事業化できなかつたら、もう二度と協力しない」という気持ちもある。

○現況について

- ・（今回の勉強会の資料は）現在の状況についてしっかり統計をとっていて、わかりやすいと思う。
- ・特にバスについては、JR芦屋駅南口を発着する路線が少ないことがわかった。

○事業の今後の見込みについて

- ・国の予算が付くのは、一体いつごろなのか。
- ・地権者が1人でも反対していたら、事業は進められないのか。
- ・立退き者への処遇はどうなるのか。

（次ページ右上に続く）

○勉強会の進め方について

- ・前回勉強会の話し合いの内容を踏まえて意見を出さないといけないと思う。
- ・事業手法を決める前に、まず、どんなまちを目指すかについて話し合う必要がある。
- ・生活している人のライフスタイルの変化に留意すべきである。
- ・まず、事業がこれまで進まなかった理由をしっかりと検証すべきではないか。
- ・地元の意見はある程度まとめてから勉強会を進めるべきではないか。
- ・事業区域は確定しているのか。自分が区域に入っているかどうか心配である。
- ・まず、まちとしての都市機能を満足させることが根本的な条件として必要である。
- ・駅前広場の規模は、現在都市計画決定されている5,600㎡で十分なのか。
- ・区域は駅側に広げるべきと思う。
- ・駅ビルが必要かどうかという議論も必要。
- ・計画の開示→計画の早期合意→計画の早期着工の手順が必要である。

○次回勉強会について

- ・現時点で私権が制限されている範囲（都市計画決定の線引き）を示してほしい。
- ・まず、具体的な案を提示してほしい。
- ・ある程度の具体案が提示されないと意見が出せない。

○駅前周辺の改善ポイントについて

- ・バスターミナルの充実が必要である。
- ・歩道の整備が必要である。
- ・駅前広場の中には JR の建物がある。モンテメールの駐車場まで区域を広げたらどうか。
- ・交通対策をまずお願いしたい。
- ・大きな建物をつくるのではなく、公園などを整備するなど、住民の希望を聞いてほしい。
- ・街灯を格好よくしてほしい。
- ・街路樹を増やしてほしい。
- ・駅南東西道路の拡幅をすべきである。
- ・人は「よいまち」に集まってくる。「よいまち」の人口は増える。

○その他 事業区域等について

- ・芦屋市と JR 西日本が話し合い、JR 西日本を巻き込んで欲しい。
- ・都市機能を満足させるために JR 西日本にも協力してもらい、それを踏まえた計画をつくること。
- ・JR 芦屋駅やモンテメール駐車場まで区域を広げてほしい。
- ・以前、JR 西日本も事業に協力するといっていた。（保育所やドッグランは事業の際には支障とならないように協力するという約束であった。）
- ・JR 西日本との交渉は、市長が先頭でやっていないといけないと思う。

【次回勉強会に向けて】

- 事業区域や手法については、市として何か決定したというものは無いことと、事業区域については年度内を目処に素案を固めていきたいと考えていることを確認しました。
- JR 芦屋駅南地区のまちづくりについては、勉強会の場において具体的な検討を行い、意見交換をもとに進めていくことなどを確認しました。

第2回勉強会を終えて

●第2回勉強会の感想

勉強会に対するご意見等を「ふりかえりシート」に記入いただきました。今回は、参加者も多く、時間の制約もあって、なかなか十分に発言できなかったことも多かったと思います。そうした方からも、このふりかえりシートでいろいろな意見をいただきましたので、その一部を抜粋してご紹介させていただきます。

○勉強会について

- ・勉強会の進め方については、参加者によっていろいろな考え方があることがわかった。
- ・以前の検討内容を持ち出すのであれば、はっきりとまとまった内容を示してほしい。
- ・地域にお住まいの皆さんとの「温度差」を感じ、たじろいでいる。
- ・地権者の方をある程度考慮しなければいけないのか、または、個人として自由に発言してもよいのかわからない。

○次の勉強会を含めた勉強会の運営等への要望など

- ・(もう少し詳しい) 資料やデータの提供をお願いしたい。
- ・ビジョンを検討することもよいが、もう少し具体的なことを積み重ねていくことが重要である。
- ・まず、まちの都市機能を満足する駅前広場の広さを考慮した開発区域の計画プランが必要である。
- ・第1回、第2回の意見をまとめて次回の勉強会に反映してほしい。
- ・第1回目より参加者が増え、いろいろな意見が出てよかったと思う。
- ・JRを巻き込んだ計画も含め、複数案を作成し進めてほしい。
- ・第1回勉強会での意見等について、4つの項目(「まちの資源」「課題」「勉強会の進め方」「合意形成」)にまとめたが、具体的な回答がほしい。
- ・「再開発は不要」ということも1つの選択であると思う。建築制限を取り払うだけでもよいから、とにかく早く前に進めてほしい。



第3回勉強会は、駅前広場の課題を解決する方策を中心に、駅前広場のイメージについて話し合います。日程等は以下のとおりですので、どうぞふるって、ご参加ください。

日時：平成25年10月12日(土) 午前10時30分より
場所：上宮川文化センター 3階 大会議室



■お問い合わせ先

JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会

(事務局) ☎659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市都市建設部都市整備課

☎ 0797-38-2074 FAX 0797-38-7974